

平成26年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス
 コード番号 2927 URL <http://www.ams-life.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 浅山雄彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長 (氏名) 白鳥弘之
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月14日

TEL 054-281-5238

配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年8月期第1四半期の連結業績(平成25年9月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第1四半期	3,455	△5.7	218	△16.0	201	△15.9	129	9.6
25年8月期第1四半期	3,664	△2.2	260	23.4	239	19.2	118	△8.4

(注) 包括利益 26年8月期第1四半期 153百万円 (18.8%) 25年8月期第1四半期 129百万円 (5.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期第1四半期	10.92	—
25年8月期第1四半期	9.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年8月期第1四半期	17,199	6,359	37.0
25年8月期	17,513	6,324	36.1

(参考) 自己資本 26年8月期第1四半期 6,359百万円 25年8月期 6,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	—	5.00	—	10.00	15.00
26年8月期	—	—	—	—	—
26年8月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年8月期の連結業績予想(平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,400	1.7	480	△0.1	450	1.8	260	7.9	21.88
通期	15,000	4.4	1,000	10.8	950	16.1	550	△3.9	46.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年8月期1Q	12,189,720 株	25年8月期	12,189,720 株
26年8月期1Q	311,739 株	25年8月期	311,739 株
26年8月期1Q	11,877,981 株	25年8月期1Q	11,917,768 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信の添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期(平成25年9月1日～平成25年11月30日)におけるわが国の経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策により、輸出環境の改善や株価の上昇など緩やかな回復基調となりました。一方、新興国の減速を背景とした世界経済の下振れなどが国内経済を下押しする懸念要因となっております。

当社グループが属する健康食品業界は、消費者の健康維持・増進、疾病予防への意識の高さから安定的に推移いたしました。一方、企業間の競争は一層激しさを増しており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下当社グループは、主軸OEM事業において既存顧客の受注が堅調に推移したものの直販部門の苦戦や不採算店舗などの閉鎖が影響し、当第1四半期連結売上高は3,455百万円(前年同期比5.7%減)、営業利益218百万円(前年同期比16.0%減)、経常利益201百万円(前年同期比15.9%減)となりました。一方四半期純利益は、法人税負担の軽減により129百万円(前年同期比9.6%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①ヘルスケア事業

・OEM部門

当社グループの主力事業である当部門は、既存顧客からの受注堅調により、売上高は前年同期比0.1%増となりました。引き続き人材の育成にも注力しており、営業の一層の強化に努めました。生産面では健康食品製造ラインにピロー包装機を追加導入し、また微粉碎機においても追加導入準備を進めました。

・海外部門

東南アジア圏を中心に美白商材が引き続き好調に推移いたしました。また、シンガポールにおいては消費者ニーズに一致した馬プラセンタが伸びました。しかしながら、価格競争の激化など市場環境が変化した台湾での苦戦が影響し、当部門の売上高は前年同期を下回る結果となりました。

AFCブランド商品の新たな販路として、ロシア進出の準備を進めております。

・通信販売部門

前年に続き、新たな顧客開拓として異業種他社とタイアップした通販カタログ事業に注力いたしました。カタログ発刊のほか、工場見学会や健康セミナーの実施、タイアップ先のイベントへの積極的な出店など、AFCブランドの知名度向上と商品訴求に取り組み、堅実に販路を拡大しております。しかしながら健康食品における通販市場が低迷し、当社においても前年同期を下回る売上高となりました。

・卸販売部門

昨年7月に新発売した「ハートフルシリーズ」がドラッグストアを中心に順調に進捗いたしました。またネット販売業顧客への「ダイエットサプリ」、TVショッピング業顧客への「爽快柑シリーズ」が好調を維持しました。一方、一部商品の値崩れ防止のための商品絞込み、雑貨関連業務の不振、セールス人員の減少による販売促進不足が響き、部門売上高は前年同期を下回る結果となりました。

販路に適した新商品の開発を行うとともに販促物を充実させるなど、発売準備を整えております。

・店舗販売部門

百貨店店舗を販売拠点とする当部門は、試供品やリーフレットなど販促物を大幅に増やし、積極的に配布することで新規顧客の獲得および商品の拡販を図りました。また、次世代甘味料として注目が集まる“希少糖”を使用した希釈ドリンク「AFC 金時ジンジャーシロップ 薑(はじかみ)」などは、“希少糖”のマスコミ報道を受け伸ばしております。既存店ベースでは前年同期売上高を維持しましたが、不採算店舗などの閉鎖による店舗数の減少により部門売上高は前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、ヘルスケア事業の業績は、売上高3,106百万円(前年同期比6.2%減)、営業利益273百万円(前年同期比15.1%減)(全社費用調整前)となりました。

②医薬品事業

医薬品市場は、大別して医師の処方箋に基づき病院・診療所、調剤薬局で購入する医療用医薬品市場と、医師の処方箋が要らず、ドラッグストアで購入する一般用医薬品市場に分けられます。

医療用医薬品事業は、主力の製造承認を取得した医療用漢方製剤40品目について、医師、薬剤師及び医薬品卸の営業担当者に対して、品質・安全性の確保に対する取り組みのほか、同業他社の製品と比べ効能効果の同等性が極めて高いこと及び患者さんの経済的負担(医療費の自己負担)が小さいことなどを説明してきました。

また、一般用医薬品事業についても、積極的な営業活動及び販売促進活動などを行いました。

以上の結果、医薬品の卸販売部門においては、前年同期の売上高を上回ったものの、店舗販売部門における不採算店舗などの閉鎖が影響し、医薬品事業全体では、売上高が348百万円(前年同期比1.5%減)となりました。利益面については前途の不採算店などの閉鎖効果などにより、営業利益35百万円(前年同期比25.4%増)(全社費調整前)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ241百万円減少し、8,276百万円となりました。この減少要因は主として、受取手形及び売掛金が118百万円、仕掛品が54百万円増加した反面、現金及び預金が457百万円減少したことによるものであります。

②固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ73百万円減少し、8,923百万円となりました。この減少要因は主として、償却により有形固定資産が91百万円減少したことによるものであります。

③流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ47百万円減少し、6,690百万円となりました。この減少要因は主として、支払手形及び買掛金が116百万円増加した反面、未払法人税等が188百万円減少したことによるものであります。

④固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ302百万円減少し、4,149百万円となりました。この減少要因は主として、長期借入金が268百万円減少したことによるものであります。

⑤純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ34百万円増加し、6,359百万円となりました。この増加要因は、その他有価証券評価差額金が23百万円、四半期純利益の計上により利益剰余金が10百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年10月11日の「平成25年8月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,473,237	4,015,981
受取手形及び売掛金	1,829,848	1,948,187
商品及び製品	895,214	858,294
仕掛品	575,308	629,564
原材料及び貯蔵品	604,913	650,712
その他	191,222	182,554
貸倒引当金	△52,182	△9,088
流動資産合計	8,517,563	8,276,205
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,223,133	3,171,392
土地	4,002,184	4,003,657
その他(純額)	1,065,378	1,024,324
有形固定資産合計	8,290,697	8,199,374
無形固定資産		
のれん	7,142	6,887
その他	52,996	49,704
無形固定資産合計	60,138	56,591
投資その他の資産		
その他	652,769	720,226
貸倒引当金	△7,437	△53,157
投資その他の資産合計	645,332	667,068
固定資産合計	8,996,168	8,923,035
資産合計	17,513,731	17,199,240
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,554,929	1,671,166
短期借入金	3,816,170	3,821,531
未払法人税等	265,870	76,927
賞与引当金	95,800	122,142
ポイント引当金	50,000	47,000
その他	954,635	951,404
流動負債合計	6,737,404	6,690,172
固定負債		
社債	450,000	450,000
長期借入金	2,654,137	2,385,418
役員退職慰労引当金	346,704	352,126
退職給付引当金	184,116	188,456

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
負ののれん	4,506	4,365
その他	812,386	769,321
固定負債合計	4,451,850	4,149,687
負債合計	11,189,255	10,839,859
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,405,498	1,405,498
資本剰余金	1,482,684	1,482,684
利益剰余金	3,672,870	3,683,835
自己株式	△228,223	△228,223
株主資本合計	6,332,830	6,343,794
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,354	15,585
その他の包括利益累計額合計	△8,354	15,585
純資産合計	6,324,475	6,359,380
負債純資産合計	17,513,731	17,199,240

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)
売上高	3,664,359	3,455,557
売上原価	2,476,396	2,398,700
売上総利益	1,187,962	1,056,857
販売費及び一般管理費	927,623	838,212
営業利益	260,338	218,645
営業外収益		
受取利息	22	21
受取配当金	1,883	2,804
負ののれん償却額	140	140
助成金収入	7,446	4,623
その他	6,280	6,324
営業外収益合計	15,774	13,915
営業外費用		
支払利息	33,260	29,458
その他	2,900	1,393
営業外費用合計	36,160	30,852
経常利益	239,952	201,708
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,863
特別利益合計	—	2,863
特別損失		
固定資産除却損	1,042	164
減損損失	5,861	—
特別損失合計	6,903	164
税金等調整前四半期純利益	233,048	204,407
法人税、住民税及び事業税	131,378	71,812
法人税等調整額	△16,725	2,850
法人税等合計	114,652	74,663
少数株主損益調整前四半期純利益	118,396	129,744
四半期純利益	118,396	129,744

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	118,396	129,744
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,976	23,940
その他の包括利益合計	10,976	23,940
四半期包括利益	129,372	153,684
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	129,372	153,684
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,310,284	354,074	3,664,359
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,310,284	354,074	3,664,359
セグメント利益	322,727	28,212	350,939

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	350,939
全社費用(注)	△90,601
四半期連結損益計算書の営業利益	260,338

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,106,680	348,877	3,455,557
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,106,680	348,877	3,455,557
セグメント利益	273,872	35,373	309,245

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	309,245
全社費用(注)	△90,599
四半期連結損益計算書の営業利益	218,645

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。